Literature cited

Critchfield, W. B. 1970. Shoot growth and heterophylly in *Ginkgo biloba*. Bot. Gaz. **131**: 150-162. Foster, A. S. and E. M. Gifford, Jr. 1974. Comparative morphology of vascular plants. 2nd ed., Freeman, San Francisco. Hara, N. 1980. Morphological study on early ontogeny of the *Ginkgo* leaf. Bot. Mag. Tokyo **93**: 1-12. —— 1981. Form of plants. Baifūkan, Tokyo. (*In* Japanese). Maekawa, F. 1948. Dichotomy of *Ginkgo* and its bearing to phylogeny. J. Jap. Bot. **22**: 119-124. (*In* Japanese). Watari, S. 1936. Morphology and structure of some ascidiate leaves. J. Jap. Bot. **12**: 100-116. (*In* Japanese).

* * * *

イチョウの奇形葉についてはすでに多くが知られているが，本研究ではおもに東京大学理学部付属植物園のイチョウの‘ひこばえ’に生じた奇形葉を観察した。盃状葉 (Fig. 5)，葉身の半分が盃状になった半盃状葉 (Figs. 6, 7)，葉身基部が盃状になった基部盃状葉 (Figs. 3, 4) が観察された。このような奇形葉を生じやすいひこばえの茎頂付近を走査型電子顕微鏡で観察したところ，奇形葉の発達過程は十字二又分枝状に発達をする正常な葉の発達過程に関連が深いと推察することができた。

□杉本順一：**静岡県植物誌** (SUGIMOTO, J.: Flora of Shizuoka Prefecture) 814 pp., 4 pls. 1984. 第一法規出版株式会社. ¥12,000. 著者が60年以上にわたって自ら踏査して集めた資料を基にした待望の書が出版された。静岡県は海岸から高山まで，また地質的にも多岐にわたる環境下にあって豊富な植物相が見られ，富士，箱根，伊豆など古くから多くの学者によって調査されている地域をふくみ，これをまとめることは至難な仕事であるが，一方学問的には最も興味ある地域の一つである。本書にはこれまで記録された約4800の高等植物が網羅され，その全部に要をえた記載がつけられ，県内の産地がかなり詳しく記されている。筆者は周知のように，静岡県だけでなく日本の植物全体について広い知識と長い経験をもち，文献にも落ちなく目を通しており，その同定に信頼性が高く，フローラとして大切な細かい変異を初め専門家が知りたいと思うデータがうまくとりいれられている。いわば静岡県産高等植物の戸籍原簿というべきものである。今後開発などによって失われる植物も増えるであろうし，新しい研究によって分類方式や学名などが変ることがあっても，日本植物の進化や変遷など歴史的考察を必要とする研究に適確な基礎資料を提供する不朽の書である。高齢の著者が戦災により大切な標本をすべて失われた不幸をのりこえて，残された記録と新たに集められた資料をここに集大成された熱意に対し敬意を表したい。 (原 寛)